

地域活動支援事業応募

テーマ 「外国人住民との新たな共生まちづくり事業」について

2020年6月5日(金)発表者 上吉町内会 渡邊吉造

今回の「地域活動支援事業」に応募した提案書を要点整理してご説明申し上げます。

昨年、本庁の「共生まちづくり課」「産業政策課」「企画政策課」「創造政策研究所」の係長の方々がお見えになって上越市も外国人が年々多くなり市内ではトラブルも発生してきている。頸城区特に上吉町内会には外国人が上越市内で二番に多く居住されているが問題点が無いかとの話がありました。トラブルは無く良好な関係で活動していますと答えました。

この事がきっかけとなって上吉町内会の記事が創造行政のチラシに掲載されたり、7月1日の「上越市町内会長の集い」に「外国人住民との共生まちづくり構想」について発表してほしい...と。そして市、企業、町内会の連携で日本語教育講演会、(希望館)、防災訓練など6月及びそれ以降に計画されていましたがコロナ感染問題で中止となりました。

このような事から今回「地域活動支援事業」に応募したのは市からの要請もありますが上吉町内会の住民は822人(4/1日町内会調べ)外国人190人実に23%にあたる方々が居住されています。

この事実を受け止め中長期的視点にたつてコミュニティ活動が必要であると考えました。

それは交通安全、防災訓練、環境衛生、日本語教育、文化レク(納涼会)活動など、市と新潟太陽誘電

(株)、コスミックファーム(株)、サンヴァテックス(株)、近隣町内会(特に下吉、西福島二区)と連携して取り組んでいく必要があると考えています。

日本語教育は、上吉町内会館で市の国際交流課、サンヴァテックス(株)フィリピン人受講者毎回20人位、各週火曜日3時間で行われています。

その他にも交流会や防災訓練の説明や解説も今後可能な限り開催して行きたいと考えています。

上吉町内会は、それらの活動を支援する為にも、パソコン、プロジェクター、スクリーンを常設、活用しながらコミュニケーション活動に役立たせたいと考え応募した次第です。

どうぞ、ご理解宜しく願い申し上げます。

参考まで昨年の「納涼会の写真」と「日本語教室(フィリピン)の写真」をご覧ください。

以上